

平成26年度 第3回伊予市障害者福祉計画策定審議会 会議録

日時:平成27年2月25日(水) 13時30分～15時30分

場所:伊予市役所 3階 第2委員会室

出席者:友沢 祐一委員 上本 昌幸委員 森平 澄子委員 水田 恒二委員
福島 久子委員 阿部 富美委員 佐伯 徹也委員 上岡 一世委員
武田 淳一委員 渡邊 博隆委員
事務局(渡辺・大森)

○開会

○会長挨拶

今日は最後の、第3回の伊予市障害者福祉計画策定審議会となります。お忙しい中、多くの方にお集まりいただき開催できることを嬉しく思います。皆様からの、障害のある方の幸せを願った積極的な御意見を頂き、伊予市が目指す姿に向けて、計画的な推進を図ることができますよう、よろしく申し上げます。

○議事

(事務局)

本日の配布資料について御確認ください。

(会長)

議題1の伊予市障害者計画・第4期障害福祉計画案に関する意見の募集結果について、事務局よりの説明をお願いします。

章ごとに区切って説明の上、意見を求めたいと思います。

(事務局)

これまで皆様より御審議いただいた内容をもとに修正を行い、パブリックコメント方式により意見を求めましたが、20日間の間には意見はありませんでした。

資料2に沿って、計画案と大きな変更点について説明します。

アンケート調査内容について、巻末に添付する予定でしたが、第2章の16ページにまとめて記載しました。

(委員)

16ページの回収率の数値に関して、算出方法を説明してください。

(事務局)

無効回答等の取り扱い等について、詳細は後日改めて報告します。

8ページの1～10の記載に関して一部追記しました。

(委員)

9ページのPDCAの図に関してですが、体言止めで表現したほうが良いのではないかと。

(事務局)

体言止めでの表現を検討します。

(委員)

色覚障害者を含めた人に対して、表を見やすくするための表記方法について検討してはどうか。

(事務局)

この部分は、カラーではなく濃淡での表現になります。予算の関係上、色覚障害の方対象の印刷は難しいかと思われますので、別途、音読グループの方たちの協力を仰ぎ、計画書の部分のテープ起こしを検討したいと思います。

(会長)

第2章に関する説明をお願いします。

(事務局)

前回、回答者実人数がわかりにくいという御意見から、グラフの下の方に追記しました。

25ページのグラフが見にくいという御指摘に対し一部修正しました。

26ページの調査結果に関して、見出しを変更し、個人を特定できるような表現を削除しました。

28ページの団体調査結果について、一部整理統合しました。

33ページに委員会での御意見等を記載しました。

(会長)

個人情報的な内容については省くということによろしいかと思えます。

その他に何か御質問はありませんか。

(委員)

25ページについて、分かりにくいので説明をお願いします。

(事務局)

このアンケートの主眼は、今後どのようなサービスが必要かを知るためのもので、人数の割合に関しては傾向を知ることによって、御理解いただければと思います。

(会長)

続きまして、第3章に関する説明をお願いします。

(事務局)

34ページの目標値について、第4章の47ページとの整合性等を考慮した上で一部目標値について変更しました。

(会長)

何か御質問はありませんか。

(委員)

34ページの表記について、横文字に対して説明書きを入れたほうが分かりやすいのではないのでしょうか。

(会長)

横文字は分かりにくいので、説明書を入れた方が親切だと思います。

(事務局)

検討したいと思います。

(会長)

他に何か御質問はありませんか。

なければ、第4章に関しての説明をお願いします。

(事務局)

42ページをご覧ください。

前の素案では記載が分かりにくいということで、記載を分けて表記しました。ほかの箇所、46ページなどでも表をまとめて分かりやすくしました。

(委員)

42ページの表中の色についてはどうなのか

(事務局)

実際は白黒になります。

(委員)

実際は色をつけたほうがわかりやすいのではないかと。予算等の関係があるのであれば、枠をつけるなどの工夫を考えてはどうか。

(委員)

もう1点、目標値の設定方法について、実績が前期の目標値に対し未達成の項目に対しても、来期の目標をさらに高く設定しているものがあるが、どう考えているのか。

(事務局)

例えば、平成26年度の居宅介護のところを見てください。これまでの実績、及び利用者のニーズ等を鑑みて推測し設定しました。その他の項目に関しても同様に行ないました。

(会長)

第5章についての説明をお願いします。

(事務局)

この章に関しては、特に前回との変更点はございません。

1点だけ、51ページの医療型児童発達支援に関して24年度からの実績、27年度からの目標値ともに「0」でしたので、今回は項目を省きました。保育所等訪問支援事業に関しては29年度からの利用を見込み、そのまま目標値を設定し掲載しました。

(委員)

表記の仕方で、「行ないます」の「な」はいらない。43ページ、51ページに関しても見直しが必要。

(事務局)

印刷をかける際に、再度見直します。

(会長)

第6章についての説明をお願いします。

(事務局)

54、55ページに障害福祉サービスの内容と対象者を追加しました。

前回提示の素案の中で51ページと54ページで重複するところがありましたので、一部削除しました。

(委員)

53ページのところの表の表記について、省略せずに記載したほうが良いのではないか。障害児が上、障害者が下で記載すればよいのではないか。

(事務局)

そうならば最初の文章も、障害児を先、障害者を後に記載するべきかと思われますので、そのように訂正したいと思います。

(会長)

その他見直すところがありましたらよろしくをお願いします。

では最後の、第7章についての説明をお願いします。

(委員)

第7章の62ページについて本文と表が一部相違しておりましたので訂正しました。67ページの表で、目標値を一部見直しました。

62ページの同行援護についての下2行は、前計画に入っておりましたので削除したいと思います。

68ページの資料編の上から3行目についても訂正します。

(委員)

全体の中で、15ページの中段で難病患者数が伊予市では約300名おられますが、サービス利用者は1名となっています。25ページの一番下の表との数値の関係がどの様になっているのか見方を教えてください。

(事務局)

これはアンケートをとった時に、障害区分を聞く項目があり、複数の障害をお持ちの方は複数のチェックをすることになり、身体の方で難病の方などは両方のチェックが入るようになります。実際手帳をお持ちの方で、難病の方で難病の手帳しか持てないという方が26年度は1人であったということです。

(会長)

では次に議題3、伊予市障害者計画・第4期障害福祉計画概要版について説明をお願いします。

(事務局)

ページ数は前回提示の12ページで、表紙に障害者マークを掲示しようと思います。構成は前回とほぼ同じですが、変わった点として、事業者紹介欄を2ページから3ページとさせていただきました。

今回は予算の関係上フルカラーではなく、青ベースの濃淡をつけた2色刷りの予定です。

(委員)

今は「盲人・ろう人」という言葉は使わなくなった。文部科学省でも視覚障害者・聴覚障害者となっているので、そのようにされた方がよいのではないのでしょうか。

(事務局)

耳マークと盲人の国際シンボルマークは使用に当たり協会に利用の申請がいる。今申請中のところでした。

団体の方に相談してみます。

(委員)

表紙含めたロゴマークの色についてはカラーでないとうろしくないのではないか。

もう1点、前回の3期は、目指すものが上に記載されているが、今回それが付け足しのように下になっているのは、大事なことなのでよろしくないのではないか。

(委員)

これらは何部印刷し、誰に配布するようになるのか。

(事務局)

約 300 部の予定で、障害者団体さんや民生委員さんの会等々で配布する予定です。全戸配布は予算の関係で難しいです。

(委員)

配布する対象によってフォントの大きさが気になった。

まずは読みやすさが大事だと思います。その辺りの考慮をお願いします。

(事務局)

その点は、再度検討します。

(委員)

3 ページの④の表記、4 ページの表記について、再度見直しが必要である。

(委員)

少しでも多くの人に配布できるように、できるだけたくさん印刷していただきたい。

本編の印刷部数は何部ですか。

(事務局)

いまのところ100部を予定しています。

配布先は特別支援学級のある学校を含め、再度検討し、できる限り広く行き渡るように考えたいと思います。

(会長)

皆様にはできるだけもう一度目を通して頂き、お気づきの点がありましたら事務局の方まで御連絡方、よろしく願いいたします。

続きまして、最後の議題、今後の予定についてお願いします。

(事務局)

資料4をご覧ください。

これまで皆様に審議していただいた内容をここに記載しております。下から5行目に本日の内容を記載しております。明後日27日に「当計画の「答申」をおこないます。さらに4月に臨時議会を予定しております。開催の場合はこの時に、報告、公布させて頂きたいと思っております。

本来でしたら、皆様に答申をお願いしたいところですが、時間の都合等もあり、会長に代表して市長への答申をお願いしたいと思っております。

(会長)

最後に全体的に何かありますでしょうか。

(委員)

19、20ページでグラフの回答者人数について、65才以上の回答が多

く全体に偏りがあるように思われます。説明がないとわかりにくいと思われま
すので、御検討ください。

(会長)

最後に事務局よりお願いします。

(事務局)

本日は長時間にわたり皆様ありがとうございました。

閉会の御挨拶を副会長様よろしくお願いします。

(副会長)

これまで皆様よりの多くの御意見、ありがとうございました。

全3回の審議会を経て「答申」が出せるまでやってまいりました。

今後ともしっかりと見守っていただきたいと思います。